

リナーリグライトM-25SB

カーボンの溶解除去に。「むせ」なく「発泡」少ない。

エアコン洗浄 厨房洗浄 排気ダクト 機械洗浄

東京営業部 〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号(黒龍芝公園ビル)
TEL.03-3434-7822 FAX.03-3434-7897

発行所株式会社空調タイムズ社
本社 〒105-0013
東京都港区浜松町2-3-29
(磯山第2ビル)
電話代表番号 東京3433局6501
FAX:東京 3433-6505
関西支社 (〒530-0015)
大阪市北区中崎西1-4-22(第八新興ビル)
電話代表番号 大阪6312局6061
URL http://ac-times.com
振替口座 00140-9-49445

空調タイムズ

THE AIR-CONDITIONING TIMES

(昭和35年2月22日第三種郵便物認可) =購読料一ヶ月10円 毎週水曜日

3月1日

高まる化学汚染

第二十四回「空気清浄とコ」
ンタミネーション」コントロー
ル研究大会が社団法人日本
空気清浄協会(会長「中江茂
氏」の主催、日本エアール協
会の共催によって開催され
る。特別協賛は日本製薬工業
協会。
電気電子産業、原子力産業、
精密機械産業、建築産業、医
療・薬品、食品など様々な分
野における研究発表を行う場
とし、専門分野や専門分野外
の交流を通して各研究活動の
進展などに貢献することを目
的とする。今回、九十四もの
研究成果が発表がされる。こ
の中の一部を表に示してある
(表参照)。
一般研究発表では、ケミカ
ル汚染やIAQ(室内空気室)

に関するものが多く見られ
る。また、汚染質の関係ではカ
ス分子状物質が増えつつあ
るが、揮発性ガス汚染、微生物
汚染関係の研究発表が多い。
毎回行われているが、同大
会での優秀な発表論文を選出
し、研究大会会長賞、会長奨
励賞を表彰している。表彰は
なお、前回大会の受賞者を懇
親会で表彰する。
今回の招待講演は、元三菱
電機の小宮啓義氏により「半
導体工場のコンタミネーショ
ンコントロールとマネジメ
ント」が講演される。四月十
一日三時から。
◇
開催日時は平成十八年四月
十一日(九時三十分〜十七
時)、四月十二日(九時四十
分〜十七時)。
場所は早稲田大学国際会議
場(新宿区西早稲田)とし、

早期の技術開発を支

環境省 アスベスト飛散

環境省はアスベスト飛散抑
制対策に資する早期の技術開
発を支援すると発表した。こ
れにより既存技術の改良や普
及ではなく、これまでにな
い新たな技術開発要素を持った
「大気中のアスベスト濃度測
定」、「アスベスト含有率測
定」、「アスベスト飛散防止
の三分野における研究開発や
技術を公募対象とし、今後の
積極的なアスベスト対策とし

ミサワ環境技術が省エネセンター会長賞

日設連・省エネ設備顕彰に5設備

田尻、東京冷空事業協組、三冷社など

社団法人日本冷凍空調設備
工業連合会(会長「栗原利喜
男」旭調温工業会長)は、二月
二十二日後、第二十四回優
良省エネルギー設備顕彰会を
開き、ミサワ環境技術(広島県
三次市)が施工した「地中冷熱
利用ハイブリット型冷却シ
ステム」など5設備を顕彰した。
同優良省エネ設備顕彰は、日
設連が八三年(昭和58年)か
ら毎年二月の省エネ月間に実
施してきたもの。特徴は省エ
ネ性・環境性に優れた冷凍空
調設備を施工した企業(業者)
を顕彰することにも、同設備
を導入した設備所有者に対し
ても感謝状と記念品を贈って
感謝しているもの。

今回の優良省エネ設備
顕彰では、最初に財団法人
省エネルギーセンター会長賞
(改修設備部門)として広島県
三次市のミサワ環境技術が広
島県竹原市のアラハタ・シャ
ム工場に施工した「地中冷熱
利用ハイブリット型冷却シ
ステム」を選定して顕彰した。つ
いで社団法人日本冷凍空調設
備工業連合会会長賞(いうつ
り、優秀賞・新設備部門)で
田尻機械工業(札幌市)・北海
道電力総合研究所(北海道江
別市)・北電総合設計が共同し
て設計・設備施工した「養殖・農
産物貯蔵庫(北海道苫小牧市)

建築推奨基準を策定

部材毎の目標値など設定

外断熱工法の普及促進を目
的として「関連二十三社」で構成
される「外断熱懇話会(会長「
夏目康広氏」・康和地所社長、
事務局・東京都千代田区一番
町二五)は、先に開催された
役員会にて外断熱建築推奨基
準を策定した。
外断熱工法とは、コンクリ
ートの建築物を「断熱材です
っぽ」と覆う工法」。結露や
カビに由来する健康被害への
対策としても有効で、省エネ
に貢献する健康被害を併せて
軽減する。公算締め切りは四月三
日まで。

Gサービサイジングエ

経済産業省は、より高い環
境負荷低減効果が期待される
サービス提供型事業者を支援
する「グリーン・サービサイ
ジングモデル事業」を開始す
る。平成十八年度の手算成立
を前提として、公募が開始さ
れる。公算締め切りは四月三
日まで。

太陽熱高度利

祝意を表した。
顕彰式のと、佐脇紀代志
(神奈川県南足柄市)の「ホ
イラ」吸収冷凍機更新工事」
同賞・同部門でエイエムエス
企画(大阪府池田市)・イオナ
ステック(大阪府和歌山市)の
「がソボックス(大阪府能勢
町)に施工した「冷凍機省工
ネシステム「I、B」の導入
ビジネスモデル」をそれぞれ
顕彰するとともに、設備所有
者に感謝状と記念品を贈って
盛大に開かれた。

これよの、優良設備で
の審査会は田中辰明・御茶の
水女子大教授を委員長に、学
識経験者メンバー・設備設計
者などで構成し、二月二日慎
重に最終審査した。顕彰会の

「自然冷熱併用型農産物貯
蔵システム」同奨励賞・改修
設備部門で東電ホームサービ
ス(さいたま市中央区)・東京
冷凍空調事業協同組合(東京